

入試セ事一第 17 号
令和 8 年 6 月 2 日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各都道府県知事
高等学校を設置する学校設置会社を所轄 殿
する構造改革特別区域法
第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の長
独立行政法人国立高等専門学校機構理事長

独立行政法人大学入試センター理事長
牛 木 辰 男
(公印省略)

令和 9 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施要項について（通知）

標記の要項について、「令和 9 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」（令和 7 年 6 月 3 日付け 7 文科高第 316 号文部科学省高等教育局長通知）の第 7 及び「令和 9 年度大学入学者選抜実施要項」（令和 8 年 5 月 27 日付け 8 文科高第 318 号文部科学省高等教育局長通知）の第 4 に基づき、別紙のとおり定めましたので通知します。

「令和 8 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施要項」からの主な変更点については、下記のとおりです。

都道府県教育委員会におかれては所管の高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）及び域内の高等学校を所管する指定都市を除く市区町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会におかれては所轄の高等学校に対し、都道府県知事及び構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の長におかれては所轄の高等学校に対し、独立行政法人国立高等専門学校機構におかれては国立高等専門学校に対し、周知していただくようお願い申し上げます。

記

- 出願期間
令和 8 年 9 月 15 日(火)から 10 月 2 日(金)まで
- 試験実施期日
令和 9 年 1 月 16 日(土)及び 17 日(日)
- 追試験実施期日
令和 9 年 1 月 23 日(土)及び 24 日(日)

【留意事項】

- 大学入学共通テストの出願はWeb出願です。
- 高等学校における卒業見込みの入学志願者の出願書類の取りまとめは行いません。
- 全ての入学志願者が個人で出願する必要があることについて、改めて高等学校への周知をお願いいたします。

問合せ先
独立行政法人大学入試センター事業部事業第一課
電話 03-3465-8600（直通）
03-3468-3311（代表）→音声案内1番

令和9年度大学入学者選抜に係る 大学入学共通テスト実施要項

〔 令和8年6月2日入試セ事一第17号 〕
独立行政法人大学入試センター理事長通知

「令和9年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」（令和7年6月3日付け7文科高第316号文部科学省高等教育局長通知）の第7に基づく要項については、次に定めるところによる。なお、試験実施期日等については、「令和9年度大学入学者選抜実施要項」（令和8年5月27日付け8文科高第318号文部科学省高等教育局長通知）の第4に基づき定める。

1 実施の趣旨等

- (1) 大学入学共通テストは、大学（専門職大学及び短期大学（専門職短期大学を含む。以下同じ。）を含む。以下同じ。）への入学志願者を対象に、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的として、これを利用する各大学（大学の一部の学部等が利用する大学を含む。以下「各大学」という。）が独立行政法人大学入試センター（以下「大学入試センター」という。）と協力して同一の期日に同一の試験問題により、共同して実施する。
- (2) 大学入学共通テストでは、各教科・科目の特質に応じ、知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力等も重視して評価を行う。各大学は、大学教育を受けるにふさわしい能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定することに資するため、それぞれの判断と創意工夫に基づき、これを適切に利用する。

2 実施に当たっての業務分担等

- (1) 大学入学共通テストは、中立・公正を旨とし、試験の実施に当たっては、試験問題の漏洩や不正行為の発生など大学入学共通テストの信頼性を損なう事態が生ずることのないよう、試験問題の作成、答案の採点その他の業務を適切かつ厳正に行う。
また、試験を適切かつ円滑に実施するため、各種マニュアルの作成、大学入試センターと各大学間の連絡体制の構築、その他試験実施方法等について周到な準備に努めるとともに、受験者の不正行為を未然に防止するため、受験者の座席の配置など試験室の設定の際の配慮、不正行為の内容及び罰則の周知、受験者の所持品の確認、試験室内の巡視を十分に行うことなどに努める。
- (2) 大学入学共通テストの実施に当たっての業務は、上記(1)を踏まえ、大学入試センターと各大学が次のとおり分担し、それぞれ責任を持って行う。
 - ① 大学入試センター
試験問題等の作成・印刷及び輸送、受験案内等の作成、出願の受付、受験票等の発行、実施等に関する各種マニュアルの作成、各大学への実施方法等の周知、試験場の指定、答案の採点・集計、試験成績その他資料の各大学への提供、その他関連する業務
 - ② 各大学
試験問題作成に携わる者の派遣、試験場の設定、試験監督者等の選出及び実施方法等の周知、受領試験問題等の保管・管理及び設定した試験場への輸送、試験の実施、答案の整理・返送、試験成績の請求、その他関連する業務
- (3) 各大学は、大学入試センターと協力して、原則として都道府県ごとに、各大学の入学者選抜の実施責任者等による連絡会議を組織し、試験場の設定等試験実施上の具体的取扱いについて協議する。
なお、連絡会議を組織するに当たっては、この会議の取りまとめや当該地域内の大学間の連絡調整等を行う世話大学を置き、大学入学共通テストの円滑な実施を図る。

3 出題教科・科目等

- (1) 大学入学共通テストの出題は、高等学校学習指導要領に準拠して行う。
- (2) 大学入学共通テストの出題教科・科目等は、別紙のとおりとする。
- (3) 大学入学共通テストは、主として多肢選択による客観式の検査方式により出題し、解答はマーク方式とする。

4 受験案内

大学入試センターは、出願の具体的手続、大学入学共通テストの実施に関する細目等を記載した受験案内を作成し、令和8年6月中旬までに大学入試センターのウェブサイト上で公表する。希望者は、受験案内を大学入試センターのウェブサイトから取得する。

5 出願資格

大学入学共通テストに出願することができる者は、各大学へ入学を志願する者（以下「入学志願者」という。）であって、かつ、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

6 出願

大学入学共通テストの出願は、次のとおりとする。

- (1) 出願の期間は、令和8年9月15日（火）から10月2日（金）までとする。
- (2) 出願の方法は、次のとおりとする。
 - ① 入学志願者は、出願に当たり、インターネット上の大学入学共通テストの出願サイト（以下「共通テスト出願サイト」という。）において、メールアドレス等を登録し、マイページを作成する。
マイページの作成期間は、令和8年7月1日（水）から10月2日（金）までとする。
 - ② 入学志願者は、共通テスト出願サイトのマイページ上で出願期間内に受験教科や検定料等の支払方法等を登録する。
 - ③ 入学志願者は、②において登録した支払方法により、出願期間内に検定料等を支払う。
 - ④ 入学志願者は、受験教科及び科目数等について、次の事項を出願時に登録する。
 - ア 受験する教科（地理歴史及び公民については、そのいずれか又は両教科を受験する場合であっても、出願登録上は1教科として取り扱う。）
 - イ 地理歴史及び公民並びに理科については、受験科目数
 - ウ 外国語の各科目のうち『ドイツ語』『フランス語』『中国語』又は『韓国語』のいずれかの科目の受験希望の有無
 - エ 大学入学共通テストの成績の閲覧希望の有無
- (5) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）又は中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者は、自身の出願内容等を在学する学校へ情報提供することについて、同意の有無を出願時に登録する。

7 検定料

- (1) 大学入学共通テストの検定料は、次のとおりとする。

区 分	金 額
3 教科以上を受験する場合	18,000 円
2 教科以下を受験する場合	12,000 円

(注) 検定料の算定において、地理歴史及び公民については、受験する教科数にかかわらず、受験教科数は「1」として取り扱う。

- (2) 検定料の支払期間は、令和8年9月15日（火）から10月2日（金）までとする。
- (3) 検定料の支払方法は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）とし、入学志願者が出願時に共通テスト出願サイトのマイページ上で選択する。
- なお、検定料を支払う際に必要な手数料は、入学志願者が負担する。

8 出願内容の確認等

- (1) 出願内容の確認及び訂正は、共通テスト出願サイトのマイページ上で行う。
- (2) 出願内容の確認及び訂正の期間は、令和8年10月9日（金）から10月16日（金）までとする。

9 受験票

大学入試センターは、出願を受理した入学志願者に対し、受験番号、試験場等を記載した受験票を、令和8年12月上旬までに発行する。入学志願者は、共通テスト出願サイトのマイページ上で受験票を取得する。

10 試験場の指定

- (1) 大学入学共通テストの試験場は、原則として都道府県を単位とする試験地区を設け、この試験地区内に所在する各大学が、当該試験地区内の入学志願者を収容できるよう、設定する。
- (2) 大学入試センターは、出願を受理した入学志願者に対し、原則として次により試験場を指定する。
- ① 高等学校又は中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者（通信制の課程によるものを除く。）については、在学する学校が所在する試験地区内の各大学が設定する試験場
- ② ①以外の者については、居住する試験地区内の各大学が設定する試験場

11 試験実施期日等

- (1) 大学入学共通テストの実施期日は、令和 9 年 1 月 16 日（土）及び 17 日（日）とする。
 (2) 大学入学共通テストの時間割は、次のとおりとする。

試験日	出題教科	出題科目	試験時間
第1日	地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『公共，倫理』『公共，政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』（注1）	2 科目登録者 9:30～11:40（注 2） 1 科目登録者 10:40～11:40
	国 語	『国語』	13:00～14:30
	外 国 語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』【リーディング】 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40
			『英語』【リスニング】 17:20～18:20（注 3）
第2日	理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』（注 1） 『物理』『化学』『生物』『地学』	2 科目登録者 9:30～11:40（注 2） 1 科目登録者 10:40～11:40
	数 学 ①	『数学 I，数学 A』『数学 I』	13:00～14:10
	数 学 ②	『数学 II，数学 B，数学 C』	15:00～16:10
	情 報	『情報 I』	17:00～18:00

（注 1）『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つの出題範囲のうちから、必ず二つの出題範囲を選択解答する。

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲のうちから、必ず二つの出題範囲を選択解答する。

（注 2）地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において 2 科目を選択する場合は、解答順に第 1 解答科目及び第 2 解答科目に区分し各 60 分間で解答を行うが、第 1 解答科目及び第 2 解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は 130 分とする。

（注 3）リスニングは、音声問題を用い 30 分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付した IC プレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は 60 分とする。

- (3) 疾病、負傷等やむを得ない事情により、大学入学共通テストを(1)に定める期日に受験できない者を対象として、次のとおり追試験を実施する。

① 実施期日は、令和 9 年 1 月 23 日（土）及び 24 日（日）とする。

ただし、下記(4)の再試験をこの期日より後に実施する必要がある場合には、追試験についても再試験と同一の期日に実施する。

② 試験場は、原則として全国を2地区に分け、地区ごとに設定する。

③ 追試験の受験については、所定の基準により、各大学が申請事由を審査し、許可する。

(4) 雪・地震等による災害その他特別の事情により、大学入学共通テストを(1)に定める期日に実施できず又は完了しなかった場合には、実施できなかった試験分について、令和9年1月23日（土）及び24日（日）に再試験を実施する。

ただし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施する。

12 得点の調整

大学入試センターは、大学入学共通テストの本試験において、(1)の対象教科・科目について、(2)の実施条件を満たした場合、得点調整を実施する。

また、得点調整の実施の有無については、令和9年1月22日（金）（予定）に発表する。

(1) 得点調整の対象教科・科目

① 地理歴史の『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』の間

② 公民の『公共、倫理』『公共、政治・経済』の間

③ 理科の『物理』『化学』『生物』『地学』の間

ただし、受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としない。

(2) 得点調整の実施条件

得点調整の対象となる各科目間で、次のいずれかが生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行う。

・20点以上の平均点差が生じた場合

・15点以上の平均点差が生じ、かつ、大学入学共通テストの科目別得点等における9段階の段階表示（以下「段階表示」という。）の区分点差^{*1}が20点以上生じた場合

(3) 得点調整の方法

得点調整は、「分位点差縮小法」^{*2}という方式を用いて、次のア、イを満たすように行う。

ア. 各科目の元の点数を下げないこと。

イ. 各科目間の平均点の順序を保つこと。

また、得点が加算される科目の受験者と加算されない科目の受験者間での公平性の観点から、区分点差の全てを調整するのではなく、調整後も区分点差の最も大きいところが15点となるようにする。

13 資料の発表

(1) 大学入試センターは、大学入学共通テストの試験問題、正解・配点を試験実施後速やかに発表する。

(2) 大学入試センターは、大学入学共通テストの受験者数、平均点、最高点、最低点、標準偏差等を次のとおり発表する。

① 中間発表 ……………令和9年1月20日（水）（予定）

② 最終発表 ……………令和9年2月4日（木）（予定）

(3) 大学入試センターは、段階表示の換算表を令和9年1月22日（金）（予定）に発表する。

^{*1} ここでいう区分点差とは、各科目の成績の段階表示の各段階の境目となる、上から4%、11%、23%、40%、60%、77%、89%、96%の分位点（得点）の差を指す。

^{*2} 「分位点差縮小法」とは、分位点差を一定の比率で縮小する方式である。詳細は、「令和7年度大学入学選抜に係る大学入学共通テストの得点調整の実施条件・方法について（令和5年6月9日大学入試センター）」を参照。

14 成績の請求及び提供等

- (1) 各大学は、当該大学の入学志願者から提供された大学入学共通テスト成績請求情報^{*1}に基づき、入学志願者の大学入学共通テストの成績を大学入試センターに請求する。
- (2) 大学入試センターは、各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の試験成績を速やかに提供する。
- (3) 大学入試センターが、各大学に提供する成績等の内容は、次のとおりとする。

- ① 個人別の科目別得点（『国語』については、大学が特定の分野の利用を指定した場合は、科目別得点及び分野別得点^{*2}。『英語』については、リーディング、リスニング別の得点。）及びその合計点

なお、地理歴史及び公民並びに理科については、次のとおりとする。

ア 地理歴史及び公民で2科目を受験した者又は理科で2科目を受験した者については、大学からの請求に基づき、第1解答科目、第2解答科目別の得点及びその合計点、又は第1解答科目の得点を提供する。

イ 『地理総合／歴史総合／公共』を受験した者については、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）に加え、出題範囲別（「地理総合」「歴史総合」「公共」）の得点を提供する。

ウ 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を受験した者については、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）に加え、出題範囲別（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）の得点を提供する。

- ② ①で提供する個人別の科目別得点等における段階表示

なお、国語、英語、地理歴史及び公民並びに理科については、①に基づき、次のとおりとする。

ア 『国語』については、分野別得点の段階表示は提供しない。

イ 『英語』については、リーディング、リスニング別得点の段階表示を提供する。

ウ 地理歴史及び公民で2科目を受験した者又は理科で2科目を受験した者については、第1解答科目、第2解答科目の合計点の段階表示は提供しない。

エ 『地理総合／歴史総合／公共』については、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）の段階表示に加え、出題範囲別（「地理総合」「歴史総合」「公共」）の段階表示を提供する。

オ 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）の段階表示に加え、出題範囲別（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）の段階表示を提供する。

- ③ 全受験者の科目別（『英語』については、リーディング、リスニング別）及び出題範囲別（『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』）の平均点、標準偏差、段階表示における段階ごとの人数等
- ④ 過年度（令和6年度から令和8年度大学入学者選抜）の大学入学共通テストに係る個人別の科目別得点及びその合計点等

- (4) 大学入学共通テストの成績提供の日程は、次のとおりとする。

- ① 令和9年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの成績
令和9年2月2日（火）以降に行う。

- ② 過年度（令和6年度から令和8年度大学入学者選抜）の大学入学共通テストに係る成績
令和8年6月1日（月）から令和9年3月31日（水）まで行う。

^{*1} 成績請求情報とは、各大学が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報。

^{*2} 分野別得点の詳細は、大問別に近代以降の文章（3問110点）、古典（古文（1問45点）、漢文（1問45点））とする。

ただし、令和8年9月15日（火）から12月2日（水）まで、及び令和9年1月15日（金）から2月1日（月）までの期間を除く。

- (5) 各大学は、大学入試センターから(3)に係る個人別成績の提供を受けるに当たっては、入学志願者1人1回につき、1,500円の成績提供手数料を大学入試センターへ納付する。
- (6) 各大学は、提供された(3)に係る個人別成績を、当該大学の判断により受験者本人に開示することは差し支えないこととするが、その保管・管理等に十分配慮する。
なお、開示時期は、令和9年4月1日（木）以降とする。

15 障害等のある入学志願者に対する受験上の配慮

- (1) 大学入学共通テストの実施に当たっては、障害等のある入学志願者に対し、障害等の種類・程度に応じ、申請に基づき審査の上、次のような配慮をする。
点字による出題・解答、拡大文字による出題、試験時間の延長、マーク方式によらない文字又はチェックによる解答、代筆による解答、手話通訳士等の配置、介助者の配置、特定試験室の指定、パソコンの利用、リスニングの受験を免除等
- (2) 大学入試センターは、申請方法等を記載した受験上の配慮案内を作成し、令和8年6月中旬までに大学入試センターのウェブサイト上で公表する。希望者は、受験上の配慮案内を大学入試センターのウェブサイト上から取得する。
- (3) 受験上の配慮を申請する場合は、出願手続とは別に、申請書類を大学入試センターに郵送により提出する。
なお、申請書類の様式については、入学志願者が共通テスト出願サイトのマイページから取得する。
- (4) 受験上の配慮の申請期間は、令和8年7月1日（水）から10月2日（金）（必着）（又は9月30日（水）消印有効）までとする。

ただし、大学入学共通テスト出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病、症状の悪化等）のために受験上の配慮を希望する場合の申請期間は、令和8年12月10日（木）から令和9年1月12日（火）までとする。

16 試験の実施経費

- (1) 大学入試センターは、別に定める基準に基づき、予算の範囲内において、各大学が分担する試験実施業務に係る経費を配分する。
- (2) 大学入試センターは、(1)の配分に当たり、各大学と所要の取決めを行う。

17 成績の閲覧

- (1) 大学入試センターは、大学入学共通テスト出願時の入学志願者本人からの希望に基づき、共通テスト出願サイトのマイページ上で成績を閲覧できるようにする。
- (2) 成績の閲覧期間は、令和9年4月1日（木）から4月30日（金）までとする。
- (3) 成績閲覧手数料は300円とし、成績の閲覧を希望する入学志願者は、検定料と併せて支払う。

18 その他

前各項に定めるもののほか、大学入学共通テストの実施に関する細目のうち、一括して処理することが適当と認められるものや、その他必要な事項については、大学入試センターが別に定める。

令和9年度大学入学共通テスト
出題教科・科目の出題方法等

教科	グループ	出題科目	出題方法 (出題範囲、出題科目選択の方法等) 出題範囲について特記がない場合、出題科目名に含まれる学習指導要領の科目の内容を総合した出題範囲とする。	試験時間(配点)
国語		『国語』	<ul style="list-style-type: none"> 「現代の国語」及び「言語文化」を出題範囲とし、近代以降の文章及び古典(古文、漢文)を出題する。 	90分(200点) (注1)
地理歴史		『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』	<ul style="list-style-type: none"> 左記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 (a)の『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。 2科目を選択する場合、以下の組合せを選択することはできない。 <u>(b)のうちから2科目を選択する場合</u> 『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。 <u>(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合</u> (b)については、(a)で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない。(注2) 受験する科目数は出願時に申し出ること。 	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分 (注3) (うち解答時間120分) (200点)
公民		『地理総合／歴史総合／公共』 →(a) (a): 必履修科目を組み合わせ た出題科目 (b): 必履修科目と選択科目を 組み合わせた出題科目		
数学	①	『数学Ⅰ、数学A』 『数 学Ⅰ』	<ul style="list-style-type: none"> 左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。 「数学A」については、図形の性質、場合の数と確率の2項目に対応した出題とし、全てを解答する。 	70分(100点)
	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』	<ul style="list-style-type: none"> 「数学B」及び「数学C」については、数列(数学B)、統計的な推測(数学B)、ベクトル(数学C)及び平面上の曲線と複素数平面(数学C)の4項目に対応した出題とし、4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答する。 	70分(100点)
理科		『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』 『物 理』 『化 学』 『生 物』 『地 学』	<ul style="list-style-type: none"> 左記出題科目の5科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。 受験する科目数は出願時に申し出ること。 	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分 (注3) (うち解答時間120分) (200点)
外国語		『英 語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	<ul style="list-style-type: none"> 左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 『英語』は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」及び「論理・表現Ⅰ」を出題範囲とし、【リーディング】及び【リスニング】を出題する。受験者は、原則としてその両方を受験する。その他の科目については、『英語』に準じる出題範囲とし、【筆記】を出題する。 科目選択に当たり、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』及び『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。 	『英語』 【リーディング】 80分(100点) 【リスニング】 60分 (注4) (うち解答時間30分) (100点) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 80分(200点)
情報		『情報Ⅰ』		60分(100点)

(備考) 『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

また、『地理総合／歴史総合／公共』や『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』にある“／”は、一つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表す。

(注1) 『国語』の分野別の大問数及び配点は、近代以降の文章が3問110点、古典が2問90点（古文・漢文各45点）とする。

(注2) 地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合において、選択可能な組合せは以下のとおり。

- ・(b)のうちから『地理総合、地理探究』を選択する場合、(a)では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
- ・(b)のうちから『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- ・(b)のうちから『公共、倫理』又は『公共、政治・経済』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

[参考]地理歴史及び公民において、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合に選択可能な組合せについて
○：選択可能 ×：選択不可

		(a)		
		「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
(b)	『地理総合、地理探究』	×	×	○
	『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
	『公共、倫理』	○	×	×
	『公共、政治・経済』	○	×	×

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。

(注4) 【リスニング】は、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。
なお、『英語』以外の外国語を受験した場合、【リスニング】を受験することはできない。